



留学生国知版 2024



COSMOS

(一社) 飯塚友情ネットワーク会長

千々和 敬明

本年より縄田先生から会長を引き継ぐことになりました。先生と比べ 10 歳若返ったと言うものの私も既に古希を過ぎておりまして、これから先どれほどの貢献が出来るのか些か不安でもありますが、榎本宏明氏（留学生・会計担当）正田英樹氏（サニーベール・青少年育成担当）並びに縄田先生・橋本先生（両先生は知恵袋）の方々と共に『楽しくて且つ為になる』活動が展開出来るように努力してまいりたいと考えています。

皆様方には今後とも御高配を賜りますようお願い申し上げます。

さて、《飯塚友情ネットワーク》は平成7年に九工大教授山川先生、縄田先生、中野氏によって、大学と協力して飯塚市の国際化を図ることを目的として設立されました。

まず、留学生の支援と交流

1. 物品支援（二瀬公民館物品倉庫開設）
2. 日本語教室の開設（留学生フロント）
3. 留学生会の設立と支援
4. 住居確保支援
5. 医療支援
(留学生の白血病・インド人小児への電動車椅子提供等々)
6. “留学生との交流会”（毎年6月に開催）バスハイク・ボウリング大会 etc

次に、飯塚市国際推進協議会の設立（市・民間）初代会長に縄田先生就任

留学生日本語・高校生英語大会協カ ホームビジット etc

次に、米シリコンバレー・サニーベール市との友好都市並びに姉妹都市締結のアシストインキュベーター施設人居・桜植樹・人的交流

次に、青少年育成（大学生育成）

e-ZUKA 学生ビジコン FUKUOKA 学生ビジコン

以上の如く《飯塚友情ネットワーク》は設立より 29 年間その時々、『飯塚の国際化』の課題に挑戦してまいりました。

今後、少子高齢化による人口減少社会が目前です。飯塚市における大学・企業の存続問題も深刻となってくるでしょう。しかしピンチこそ「創意工夫の機会」と捉えて知恵を駆使して課題に挑戦していきましょう。キーワードは『飯塚の国際化』

本年 1 月飯塚市は、立命館アジア太平洋大学・九工大と相互に連携し、グローバル理系人材の育成を通じ地域活性化を目指し協定書を締結しました。

～動きはじめました。皆さんも是非参加してください～

末筆になりますが、小誌「COSMOS」の編集の労を取って頂いた正田志歩さんに感謝の言葉を申し述べます。



飯塚市・サニーベール市 姉妹都市交流 10 周年

去る 2023 年 10 月 19 日から 23 日にかけて、飯塚市、サニーベール市姉妹都市交流 10 周年を記念して、サニーベール市よりラリー・クライン市長をはじめとする 41 名の訪問団が来飯されました。

10 月 20 日には飯塚市主催の姉妹都市交流 10 周年記念式典・歓迎レセプションがのがみプレジデントホテルにて開催され、盛大なる歓迎にサニーベール市の方々も感銘を受けておられました。

印象的なこととして、10 年間の姉妹都市交流において、中学生を中心としたお互いの国へのホームステイが行われる中、兄弟姉妹への連続したホームステイを双方で行うことにより、ホストファミリー間の深い交流が実現している事です。

10 月 22 日の宿場祭りでは、ラリー・クライン市長をはじめサニーベールの方々も大名行列に仮装して参加され、飯塚市民からの歓迎を受けておりました。

飯塚友情ネットワーク及びサニーベール市ラリー・クライン市長、マーク・カトウ SSCA（サニーベール姉妹都市協会）会長、嶋田吉勝飯塚ロータリークラブ会長他との会食会が行われ、更なる交流を深めることを誓い合いました。



サニーベール市 ラリー・クライン市長



会食会にて



桜

飯塚市とサニーバール市の友好都市が2013年から始まり、3年後の2016年から姉妹都市となりました。2014年から毎年、飯塚友情ネットワークより桜を10～15本程度寄付し、サニーバール市内の公園や公共施設、学校へ植樹して参りました。

すでに、100本を超える桜がサニーバール市内に植えられ、相当大きく育っている桜もあり、毎年サニーバール市では恒例の花見が実施されているとのこと。今年もサニーバール姉妹都市協会会長のマーク・カトウさんからお手紙を頂きましたので、桜、お花見の様子とともにご紹介いたします。



2014年 桜植樹の様子



マーク・カトウ SSCA (サニーバール姉妹都市協会) 会長からのお手紙

本日 (4月6日)、Braly Park にて花見をさせていただき、500人以上が登録をして、盛大に催させていただきました。10人以上のボランティアがヘルプをしてくれ、市長・副市長も来ていただきました。最初にご寄付いただいた桜は幹が直径20センチくらいに成長し、Braly Park は桜で一杯です。是非桜の時期にお越しいただければと思います。

有難うございました。

Mark Kato

President

Sunnyvale Sister City Association (MS: 197)



ラリー・クライン市長とマーク・カトウ会長



「学生ビジネスプランコンテスト 2023」

正田 英樹

去る2023年10月28日に福岡県内の大学生向けのビジネスプランコンテストを行いました。本コンテストは、主催：飯塚友情ネットワーク、共催：福岡県、飯塚市として実施され、福岡県及び飯塚市が推進するインターネットの次世代技術「ブロックチェーン」の人材育成の一環で行われました。

コンテストの参加者総数は約30名、期間は7月から8月にブロックチェーンの技術学習会を行い、9月から10月にかけてブロックチェーンを活用したビジネスプラン作成のワークショップを実施し、10月28日の本審査に挑みました。

【参加学生所属学校】

- 九州工業大学
- 九州工業大学院
- 近畿大学産業理工学部
- 福岡大学
- 九州大学
- 福岡工業大学

本審査は、まず事前の一次審査にて10チームを5チームに絞り、10月28日日本審査当日にベンチャーキャピタリスト、九州工業大学及び近畿大学の教員、福岡県及び飯塚市行政の方々を審査員に迎え、プレゼンテーションを行いました。

優勝は、ファンコミュニティを活性化するためのプレゼントサイトを企画した近畿大学産業理工学部の学生による「Crypto Gift (クリプト ギフト)」でした。優勝者は、福岡県主催「ブロックチェーンフォーラム」(参加者200名)の前でプレゼンテーションを行い、複数の企業から実際に採用したいというオファーも出ております。年々、学生のプレゼンテーションのレベルがアップしつつあり、今後、実際の起業につながることを願いつつ、続けて参りたいと考えております。



【各賞受賞チーム】

- 最優秀賞（賞金 30 万円）
グループ B 「Crypto Gift」
- ブロックチェーン特別賞（賞金 20 万円）
グループ A 「weseum」
- 優秀賞（賞金 10 万円）
Spelly 「ブロックチェーンを用いた画像生成系 AI 生成・投稿プラットフォーム」
- 応援賞（賞金 5 万円）
グループ C 「OPEN Gift」



本審査に臨んだ学生と審査員の皆様



日本への留学で学んだこと

九州工業大学 博士後期課程
インド マニプール州出身
クワイラクパム サンジュクタ

私の名前はクワイラクパム サンジュクタと申します。インドのマニプール州から参りました。現在九州工業大学の博士後期課程の学生です。鶴教授の下で災害時のネットワークの研究をしています。

子供の頃、母から祖父の話聞いて、日本がとても好きになりました。また、日本は科学技術の先進国であり、日本人は親切で謙虚で規律正しいと聞きましたので、一生懸命勉強し、日本文化についての知識も深めるために日本へ留学することに決めました。

来日してからいろんな経験をしました。日本への留学は、勉強だけでなく、生活し、働き、異文化を探求するという、他にはない機会を与えてくれました。そして、自分自身を成長させ、自立させ、責任感を持たせてくれました。また、日本人のマナーやルール、日本独自の文化についても学ぶことができました。私の周りは優しく頑張っている人が多く、私に優しい言葉で私を応援してくれるので、私も頑張ろうと思うようになりました。

インドにいる時はアルバイトの経験はありませんでした。学費等は、両親が全て捻出してくれましたので、何も心配をする必要はなく、勉強に専念できました。父がお金を送ってくれても、日本は物価が高いため、アルバイトをしないと生活ができなくなりました。来日してから、家賃、保険料、税金は自分が支払うことになったので、アルバイトが始まりました。最初はとても大変でした。インドにいる時はお金の心配はなかったので、両親が私たちのためにどれだけ頑張ってくれていかがわかり、心の中で「お母さん、お父さん本当にあり



がとうございます」と言いました。

去年の12月にとっても辛い経験をしました。それは階段から落ちて足を骨折したことです。その時、いつも留学生を無料で診察してくれる縄田先生に見てもらいました。私は、足が腫れているだけだと思っていましたが、縄田先生がCT scan を撮ってくれて、骨が折れていたことがわかりました。縄田先生はとっても優しい先生です。先生に飯塚市病院を紹介してもらいました。飯塚市立病院の先生にも丁寧に診察してもらいました。次の日、私は、大阪で学会の発表がありましたが、骨折したところが痛いので、指導教官の鶴先生に私の状況をお知らせしました。鶴先生はとっても優しい先生です。私の代わりに大阪まで行って、発表してくれました。とても感謝しています。私の周りの日本人はとっても優しい人ばかりです。病院に連れて行ってくれたり、食べ物も持って来てくれたり、送ってくれた方もいました。とても感動しています。日本人の優しさを何度も経験しました。現在は橋川病院でリハビリをしています。みんなの応援で私も頑張らないといけないと思いますし、夢に向かって頑張っていこうと思います。私の夢は先生になることですが、日本では先生になるのは簡単ではないように思います。日本語も必要です。父が活着ているときはポストク（任期付き研究職ポジション）まで行こうと思いましたが、父が亡くなった後は夢も変わりました。今はいい仕事をして母を幸せにしたいと思っています。母は妹と父が亡くなった後、とても辛かったと思いました。母の残りの人生を、私が少しでも幸せにすることができたら、私も幸せです。私はいい仕事を見つけて、母と妹を日本に呼び寄せ、一緒に旅行に行きたいと思っています。



I am Jiraphatr Jiraborvornpongsa, a first-year master's degree student in Kyushu Institute of Technology's Department of Creative Informatics, from Thailand. Since September 2023, I got an opportunity to come and study in Japan thanks to the Monbukagakusho scholarship. Before I come here to study in Fukuoka, I have been to Japan 3 times which were twice in high school to Tokyo and once in January 2023 as part of the Sakura Science program in Iizuka. I always feel wonderful to visit Japan because of the people, food, culture, atmosphere, and many other aspects of Japan. Japan is one of the most beautiful and favorite country I have ever been to, I like the atmosphere that makes everything looks clean, tidy, and charming. Japanese food is great and offers a wide variety, most of which I like. Although Japanese people are very shy, they are incredibly nice and honest at the same time, which is adorable but may occasionally make it difficult to get along.



After received bachelor's degree in Robotics Engineering from Thailand, I chose to continue my studies in Japan since this country is well-known for being among the most developed and futuristic in the world and is now working on development of an autonomous flapping robot project. In addition to studying and working on my robot project, I love to participate in activities. Since I arrived, I have joined Kyukodai Festival in the international tent, where I assisted other foreign students from countries like Malaysia, China, and Thailand in preparing their native food for people who joined the festival. Soon after, Ohtake lab, my laboratory, organized a robotics education program for elementary school students. The program included games that allowed kids to control the robots we had built. Additionally, Kyutech offers a variety of events for international students on the three campuses to participate in activities together. Some of these activities are field trips such as sightseeing Miyajidake Jinja shrine, picking up Mikan at Taiyo-En, taking part in an international friendship celebration at Tobata campus, touring the LINE company in Hakata, being an International Volunteer to speak English to Japanese students, and traveling to New York, USA, where participants visited sites and attended classes in classrooms with American students. Moreover, since I am in the technology and robotics field, I also had a chance to join a robotic team for the tomato robot competition in Kyutech Wakamatsu campus. I was assigned to help the senior as he worked on robot's gripper.

Living in Japan has generally been a good experience for me. Given how similar Asian cultures are to one another, I have no trouble integrating myself into Japanese culture. One issue I have is the language barrier, most of the locals are not able to speak English while I can hardly speak Japanese either. Sometimes the language barrier gets in the way of my interactions with other people, such as some miscommunication that occurs at restaurants, stores, or places where communication is needed. Fortunately, translators are available these days to assist us speak with Japanese people. Although it is more difficult, it is the best option available for accommodation. However, Japan is a very excellent place, especially Iizuka, and I am glad I came to study here.



Student Life in Japan



My name is Niraj Pahari, and I was born and raised in Nepal. In 2021, I came to pursue my doctoral degree in Artificial Intelligence at the Kyushu Institute of Technology. I am grateful to be under the Ministry of Education, Culture, Sports, Science, and Technology (Monbukagakusho/MEXT) scholarship provided by the Government of Japan.

My hometown, Pokhara, is a tourist city that attracts around 480,000 visitors annually. With a population of 599,504, Pokhara sits at an elevation of 822 meters above sea level. Renowned for the Phewa Lake and the majestic Annapurna range, Pokhara offers breathtaking views. The Annapurna Range boasts three of the world's top ten highest peaks, and the reflection of these peaks on Phewa Lake is a sight to behold. Additionally, Pokhara serves as the gateway to famous trekking routes such as the Annapurna Circuit, Annapurna Basecamp, and Mardi Himal Trek.

Reflecting on my experience in Japan, I arrived during the Covid-19 pandemic. Upon entry, I underwent a one-week quarantine in Tokyo before arriving in Iizuka. Iizuka turned out to be quite different from my expectations; it is a



tranquil town with warm and welcoming people. This eased my adaptation process in Japan significantly. I am grateful for the support I received from my professor, university staff, and members of the Iizuka Culture Exchange Center, which made me feel at home. My labmates and friends at the university also played a crucial role in helping me navigate the Japanese education system. I am fortunate to have the opportunity to learn in one of the world's leading countries in technology.

In addition to my academic pursuits, I actively participated in local activities. I had the pleasure of attending the Hakata Dontaku Festival with fellow international students, providing me with valuable insights into Japanese culture. Furthermore, I participated in the Iizuka Yamakasa Festival as part of the Futase Nagare team, which was both challenging and enjoyable. Additionally, I engaged in various activities organized by the Iizuka City Hall, further integrating myself into Japanese society.





九州工業大学情報工学部 留学生数

2024年2月1日現在

	学部	博士前期課程	博士後期課程	研究生・特別聴講学生等 非正規生	計
中国	1	24	4	3	32
韓国	1	1	0	0	2
マレーシア	1	1	1	1	4
インドネシア	0	1	9	1	11
フランス	0	0	0	1	1
タイ	0	6	2	3	11
インド	0	0	3	0	3
バングラデシュ	0	0	3	0	3
ネパール	0	0	1	0	1
カナダ	0	1	0	0	1
ケニア	0	1	0	0	1
計	3	35	23	9	70

近畿大学産業理工学部 外国人留学生在籍者数

令和5年5月1日現在

	学部	博士前期課程	博士後期課程	研究生・特別聴講学生等 非正規生	計
中国	3	2	1		6
韓国	1				1
インドネシア			2		2
計	4	2	3	0	9



九州工業大学での留學生活の感想

冬舒元

時は光の矢のように過ぎ去り、私は日本に留學してから5年目になります。今年3月に九州工業大学を卒業し、修士課程を修了しました。そして4月には念願の仕事も見つかり、来年から東京で就職する予定です。



留學のこの数年間、辛いこともありましたが、多くの喜びと貴重な経験を得ることができました。今の私と、日本に来たばかりの頃の私を比べると、大きく変わりました。多くの挫折にも遭遇しましたが、それらを乗り越え、いくつかの成果を得ることができました。

2019年に日本に来た当初、私は東京の語学学校に通っていました。新型コロナウイルスの影響により、突然の変化に直面し、学びの道には多くの障害が増えました。少なからず心理的な落ち込みや不安も克服する必要がありました。最終的には九州工業大学に入学することになりました。多少の時間がかかり、入学が1年遅れましたが、それ以降は困難に直面しても、より粘り強く、簡単には諦めないようになりました。これは私にとって非常に貴重な経験でした。

2019年に日本に来た当初、私は東京の語学学校に通っていました。新型コロナウイルスの影響により、突然の変化に直面し、学びの道には多くの障害



この学校に来て、私の研究室の教授や同級生と出会えたことは本当に幸運でした。困難な時に積極的に手を差し伸べてくれた韓国人の先輩に出会ったことも、とても幸運でした。彼のおかげで新しい分野の知識を迅速に学ぶことができ、昨年は論文でも成果を上げることができました。そして、その先輩がロータリー米山記念奨学会に加入するきっかけを与えてくれました。この奨学金に加入したことで、私の留學生活はさらに豊かで多彩なものになりました。この奨学会では、多くの素晴らしい先輩方

に出会いました。彼らは経済的な支援だけでなく、生活面や視野を広げる助けもしてくれました。



そのおかげで、日本社会により溶け込み、この社会と日本の大きな善意を感じることができました。そして、日本で就職するという決意も固まりました。就職活動の最初は順調ではありませんでしたが、奨学金の先輩方は多くの励ましとサポートをしてくれ、心理的なサポートや思考の変革にも多大な影響を与えてくれました。これは私にとって非常に重要なことでした。奨学会の先輩方が私に機会を与えてくれたことに感謝しており、これが現在の生活や将来の人生にとって非常

に意義深いものだと感じています。今後も奨学会の皆さんとの縁を大切にしていきたいと思えます。

日本での留學生活で得られた変化と体験を非常に楽しんでおり、これからの日本での生活も楽しみにしています。自分の技術と強みを活かして社会に貢献し、中日友好の架け橋となることに熱心に取り組んでいきたいと考えています。



友情ネットワーク Iizuka 2023.6.16 於:パドゥー・ル・コトブキ



福岡県立大学 留学生 令和4年度報告

XI. 国際交流

1. 学部・学年別・国籍別留学生数

	人間社会学部		看護学部	
	人数	国籍	人数	国籍
1年生	5	中国・韓国	該当者なし	
2年生	0			
3年生	0			
4年生	0			

2. 留学生の受入・派遣

(1) 交換留学 (受入・派遣)

	南京師範大学	大邱韓医大校	三育大校	珠海科技学院	威徳大校
受入学生数	2	0	3	0	0
派遣学生数	2	3	2	0	0

(2) 語学研修実績

	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	行き先
参加学生数	16	27	14	12	0	0	12	イギリス (バース・オックスフォード)

※R2・R3実施なし

※R4年度はオンラインで実施

(3) 短期派遣

	南京師範大学	大邱韓医大校	三育大校	吉林大学珠海学院	威徳大校
受入学生数	0	0	0	0	0
派遣学生数	0	0	0	0	0

(4) 留学における単位認定

		H29年度	H30年度	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度
南京師範大学	対象学生数	6	6	6	0	0	0
	認定単位数	76	81	48	0	0	0
大邱韓医大校	対象学生数	5	4	3	0	0	3
	認定単位数	118	74	83	0	0	27
三育大校	対象学生数	3	3	3	0	1	2
	認定単位数	61	102	80	0	12	21
吉林大学珠海学院	対象学生数	3	5	5	0	0	0
	認定単位数	87	111	193	0	0	0

3. 学術交流協定等締結校一覧

中国	南京師範大学
	北京中医薬大学
	珠海科技学院
韓国	大邱韓医大校
	三育大校
	威徳大校



令和6年(2024年)度 学 年 暦 (情報工学部)

区 分	事 項	期 日 又 は 期 間
前 期	春季休業	4月1日(月)～4月8日(月)
	新入生オリエンテーション	4月4日(木)、4月5日(金)、 4月8日(月)
	前期授業期間(試験期間含む)	4月9日(火)～8月10日(土)
	第1クォーター授業期間 (試験期間含む)	4月9日(火)～6月10日(月)
	開学記念日	5月28日(火)
	前期・第1クォーター授業調整日	5月30日(木)、6月1日(土)
	第2クォーター授業期間 (試験期間含む)	6月11日(火)～8月10日(土)
	前期・第2クォーター授業調整日	7月15日(月)、7月27日(土)
	夏季休業	8月13日(火)～9月30日(月)
後 期	後期授業期間(試験期間含む)	10月1日(火)～2月18日(火)
	第3クォーター授業期間 (試験期間含む)	10月1日(火)～12月5日(木)
	臨時休業	10月11日(金)
	第64回工大祭	10月12日(土)、10月13日(日)
	後期・第3クォーター授業調整日	11月16日(土)、11月19日(火)
	臨時休業	11月27日(水)
	学校推薦型選抜I、帰国生徒選抜	11月28日(木)～11月29日(金)
	第4クォーター授業期間 (試験期間含む)	12月6日(金)～2月18日(火)
	冬季休業	12月28日(土)～1月5日(日)
	大学入学共通テスト	1月18日(土)、1月19日(日)
	後期・第4クォーター授業調整日	1月17日(金)、2月1日(土)
	修士論文発表会	2月12日(水)、2月13日(木)
	卒業論文発表会	2月19日(水)、2月20日(木)
学位記授与式	3月25日(火)	



近畿大学産業理工学部 キャンパスカレンダー

令和6年度

月	日	曜日	行事
4月	3/29日	(金)	新入生対象TOEIC Bridge試験実施期間 (オンライン)
	~2日	(火)	
	2日	(火)	前期履修登録期間 (予定)
	~12日	(金)	
	3日	(水)	前期教科書販売開始 (丸善雄松堂)
			※全ての科目の教科書がここで購入できるわけではありません。
	3日	(水)	新入生・在学生オリエンテーション (予定)
	4日	(木)	入学式
	5日	(金)	新入生オリエンテーション (予定)
	6日	(土)	健康診断
	8日	(月)	前期授業開始
	29日	(月)	祝日授業 (昭和の日) ※月曜日授業
5月	3日	(金)	祝日授業 (憲法記念日) ※金曜日授業
7月	6日	(土)	大学院入試 (学内推薦)
	15日	(月)	祝日授業 (海の日) ※月曜日授業
	20日	(土)	オープンキャンパス
	27日	(土)	
	30日	(火)	授業予備日 ※休講が生じた場合授業となる可能性があります。
	31日	(水)	
8月	1日	(木)	
9月	11日	(水)	在学生オリエンテーション
	14日	(土)	大学院入試 (学内・一般)
	16日	(月)	祝日授業 (敬老の日) ※月曜日授業
	23日	(月)	祝日授業 (振替休日) ※月曜日授業
10月	14日	(月)	祝日授業 (スポーツの日) ※月曜日授業
11月	5日	(火)	『創立記念日』のためお休みとなります。
1月	18日	(土)	共通テスト (在学生入構禁止)
	~19日	(日)	
	23日	(木)	授業予備日 ※休講が生じた場合授業となる可能性があります。
	28日	(火)	
	29日	(水)	
2月	15日	(土)	大学院入試 (一般)
3月	中旬		卒業式
	31日	(月)	年度終了

福岡県立大学 学年暦 令和6年度

【2024(令和6)年】

月	行事
4月1日(月)	前期始まり
4月3日(水)	入学式
4月4日(木)～9日(火)	オリエンテーション
	学生定期健康診断
	新入生フォーラム等
4月8日(月)	前期履修登録締切日 (新入生除く)
4月10日(水)	前期授業開始
4月11日(木)	前期履修登録締切日 (新入生)
4月16日(火)	履修登録修正締切
5月10日(金)	開学記念日
7月1日(月)～5日(金)	基礎看護学実習Ⅰ(看護学部1年生)
7月29日(月)	前期通常授業終了
7月31日(水)～8月6日(火)	前期試験期間
8月3日(土)	オープンキャンパス
8月7日(水)～9月29日(日)	夏季休業
8月16日(金)	成績揭示日(合否のみ)
8月19日(月)～23日(金)	集中講義第一週
8月26日(月)～30日(金)	集中講義第二週
8月28日(月)～9月15日(金)	基礎看護学実習Ⅱ
9月9日(月)～20日(金)どちらか一方	(看護学部2年生)
9月11日(水)	前期成績表交付
9月11日(水)～13日(金)	成績質問期間
9月26日(木)	後期履修登録締切日
9月29日(日)	前期終わり
9月30日(月)	後期始まり 後期授業開始
10月4日(金)	後期履修登録修正締切
11月8日(金)	全学休講
11月9日(土)～10日(日)	大学祭(秋興祭)
11月22日(金)	全学休講
11月23日(土)	学校推薦型選抜・社会人・帰国生・ 留学生特別選抜等入試
12月20日(金)	社会福祉学科卒業論文提出日
12月20日(金)	看護学部卒業研究提出日
12月25日(水)～1月5日(日)	冬季休業



【2025(令和7)年】

月	行事
1月6日(月)	授業再開
1月17日(金)	全学休講
1月18(土)～19日(日)	大学入学共通テスト
1月20日(月)	全学休講
1月21日(火)	公共社会学科・人間形成学科
1月31日(金)	卒業論文提出日
2月4日(火)	後期通常授業終了
2月5日(水)～12日(水)	人間社会学部卒論発表会
2月17日(月)	後期試験期間
2月17日(月)～21日(金)	卒業予定者 成績揭示日(合否のみ)
2月17日(月)～21日(金)	後期集中講義
2月20日(木)	卒業予定者 後期成績表交付
2月20日(木)～26日(水)	卒業予定者 成績質問期間
2月25日(火)	一般入試前期日程
2月28日(金)	在学生 成績揭示日(合否のみ)
3月12日(水)	一般入試後期日程
3月17日(月)	卒業式
3月19日(水)	在学生 後期成績表交付
3月19日(水)～24日(月)	在学生 成績質問期間
3月31日(月)	後期終わり



マダガスカルの鬼ごっこ&ピザ作り体験!

2023年9月23日、外国人8名と市内中学生11名が庄内生活体験学校に集合し、JICA講師からマダガスカルの鬼ごっこを紹介していただきました。戸外で気持ちのいい汗を流し、十分お腹が空いたところで、お待ちかねの手作りピザに挑戦しました!ピザ窯で焼きあがったオリジナルピザに皆さん大満足の様子でした。



お国料理バザー

2023年10月22日、4年ぶりに開催された「いづか街道まつり」において、お国料理バザーを実施しました!当日は、市民と市内在住の外国人や留学生との交流を図ることを目的として、イヅカコスモスコモン前広場でアフリカのアフリカンシチューとタイのグリーンカレー計81食を販売しました。どちらも大変好評で、予定よりずいぶん早く完売しました。

飯塚国際交流推進協議会とは

飯塚市には、韓国、ベトナム、中国をはじめとする約40か国から来日した約1650人の外国人の方々がおられます(2023年11月現在)。飯塚国際交流推進協議会は、外国人を支援するボランティア団体、大学、関係機関が協力し合い、2006年に発足しました。国際都市いづかを目指して、「外国人の支援、異文化理解」「国際社会に向けた人づくり」「国際社会に向けた地域づくり」を推進しています。



スピーチコンテスト2023を開催しました



中学生の部

10月14日(土) 穎田交流センター別館において、中学生20名が英語スピーチを披露し、5校の小学校から参加した21名の小学生が学校生活や国際交流についての発表を行いました。審査員長の佐藤眞夕子氏からは、「皆さんのこれまでの経験や将来の展望など、実体験に基づくスピーチに感動しました」という講評をいただきました。また、市内在住の英語を母国語とする方々にも審査員をしていただきました。どの審査員の方も、小学校の発表や中学生スピーチのレベルが高いことに驚いておられました。



小学校の部



高校生の部



プレコンテストの部



外国人の部



11月5日(日)には、飯塚市役所2階において「高校生と外国人によるスピーチコンテスト」が実施されました。高校生による英語スピーチのあとに行われた外国人による日本語スピーチには、プレコンテスト枠に4名、コンテスト本選枠に10名が参加しました。日本に来て周りの方から受けたサポートに対する感謝の気持ちや、自国と日本を比べて気づいたことなどについて、ユーモアを交えながら、皆さん堂々と発表していました。

飯塚市が誇るあかねぞめを体験しました

2023年11月18日、飯塚市民と外国人が、筑前あかねぞめを通して国際交流を行いました。工程をひとつずつ確認しながら、慎重に作業を進め、世界に一つしかないあかねぞめを作り上げました。美しく染め上がったあかねぞめに、皆さん満足そうでした。



筑前茜染（ちくぜんあかねぞめ）とは…

江戸時代末期、薩摩藩主島津斉彬公（さつまはんしゅしまつなりあきらこう）は国を象徴する旗印として、白地に赤の日の丸を考案し筑前茜屋に伝わる「筑前茜染」で染め上げました。これが幕府に認められ、「筑前茜染」は日本初の日の丸を染め上げた技法となりました。



今回は、「近畿大学 産業理工学部(福岡キャンパス)」をご紹介します。



近畿大学産業理工学部には、現在、中国・韓国・インドネシアの3カ国、9名の留学生が在籍しています。

(学部生4名、大学院生5名)

また、本学部と学術交流協定を締結している台湾・虎尾科技大学から毎年6名程度の短期留学生を受け入れており、留学生一人ひとりのニーズにあわせた学習面・生活面のサポートや就職支援をきめ細かく行っています。卒業後は、日本の企業に就職する留学生もいます。



留学生の皆さんからの声
＜飯塚に住んでみて＞



キムさん(韓国)

高校生の時から日本に来て今では飯塚の近畿大学に進学して生活しています。飯塚は静かで自然があふれているところです。私が飯塚に住んだ年月は3年くらいで、まだ飯塚の全部を知って話すのは難しいのですが、今までに飯塚で会った方々は優しく親切でいい記憶だけあります。週末は川沿いを自転車で走りながら、まだ訪ねていないおいしいお店を探したりして、飯塚での生活を楽しんでいます。また、季節によっては桜を見に行ったり、地域のイベントに参加して知らない人と話すことが好きでした。私は、小さな市ですがその分、ゆっくりできるところが気に入っています。今後もこんな飯塚を楽しんでくれる方々に沢山来てほしいです。

ソウさん(台湾)

飯塚に住んでいて、近大で勉強をしています。近大の付近にはスーパーや薬局など多くのお店があるため、生活において非常に便利です。飯塚の環境は綺麗で、空気も良く景色も素晴らしいので、自転車でぶらぶらしてリラックスできます。

また、飯塚市役所では「外国人のための日本語教室」に参加することができます。このコースでは、日本語の技法や日本文化を教えていただいて、大いに助けられました。

ここでは多くの友人を作ることができ、友人からも多くの日本文化、敬語の使い方を学びました。困った時、飯塚の人々はいつも親切に助けてくれます。私は飯塚に来て本当に良かったと思います。また飯塚に遊びに来る機会があることを楽しみにしています。



りさん(中国)

2019年から飯塚に住んで近畿大学で勉強しています。飯塚市の方のおもてなしの心が一番素晴らしいと思います。大学の先生と日本人の友達から市役所の方まで、みんな親切です。飯塚市には歴史的にも見ごたえのある建物がいっぱいあります。例えば、旧伊藤伝右衛門邸や嘉穂劇場など、飯塚独自の文化が残っている場所は海外の人にとって魅力的であります。この優しく親切な街に住んで、飯塚の独自の文化を是非体験してもらいたいと思います。

リョウさん(台湾)

飯塚は大都市というわけではありませんが、ゆったりとした雰囲気大好きです。家の近くにスーパーがいくつかあるので、食材や日用品を買うのにとても便利です。また、飯塚市役所で開催される外国人のための語学教室に参加しましたが、先生とスタッフは優しく、大変役に立ち、私の日本語力が向上したと思います。飯塚は住みやすく、日本人の友人もでき、素敵な思い出を作ることができました。

ライさん(台湾)

飯塚は、嘉穂劇場など街中の建物や異なる地域の住民の評判から、飯塚が豊かな地域ということが分かりました。この街での生活や大学で習った知識を通じて、多くの経験を積み、日本文化への理解を深めることができました。飯塚は大変住みやすく良い街だと感じました。



姉妹都市サニーベールから41名の市民交流団が来飯しました



対面式



飯塚歴史資料館



旧伊藤邸



飯塚市立図書



いづか街道まつり



歓迎レセプション



お点前体験



米国サニーベール市との姉妹都市交流10周年を記念して、2023年10月19日から10月23日の5日間、41名のサニーベール市民交流団が来飯しました。到着翌日の午前中は飯塚市内の観光スポットを巡り、午後は茶室でお点前体験を楽しみました。同日夕刻に開催された「10周年セレモニー」と「歓迎レセプション」では、次の20周年記念に向けてさらなる交流を約束しました。日曜日の「ラーメンフェスティバル」ではご当地ラーメンに舌鼓を打ち、4年ぶりの開催となった「いづか街道まつり」では、希望の衣装を身にまとい仮装行列に参加しました。



飯塚国際交流推進協議会では、ボランティア活動を通じて、外国人との相互理解と友好を深め、国際交流の輪が広がるよう、**イベントボランティア、日本語ボランティア、通訳・翻訳ボランティア**を募集しています。

【加盟団体】 順不同

ボランティア団体

- 飯塚友情ネットワーク、留学生フロント
- 筑豊SGG、飯塚トースタース
- いづか人材育成グループ『ユリス』
- 福岡県青年海外協力協会、国際文化交流センター

学校関係

- 福岡県国際理解教育研究会筑豊支部
- 九州工業大学情報工学部
- 近畿大学産業理工学部
- 飯塚高校

民間企業等

- 飯塚商工会議所
- 飯塚青年会議所

飯塚市

- 経済政策推進室 産学振興担当
- 国際政策課（事務局）

国際交流や多文化共生の地域づくりに興味のある方は、事務局の国際政策課までご連絡ください。
(右のQRコードからもボランティア登録申込書を見ることができます。)



ご意見・ご質問は、飯塚国際交流推進協議会まで
お願いいたします。

事務局 飯塚市役所 経済部 国際政策課

〒820-8501 福岡県飯塚市新立岩5番5号
 TEL : 0948-22-5500 (内線1647)
 FAX : 0948-29-5440
 Email: kokusai@city.iizuka.lg.jp





【第4号議案】2024年度事業計画（案）について

2024年度事業計画（案）

自 2024年4月 1日

至 2025年3月31日

I 国際理解推進事業

1 飯塚国際交流市民のつどい 2024

市民と市内在住の外国人との交流を図ることを目的として「筑前の國いづか街道まつり」においてお国料理バザーを開催することで、多くの集客を図り、交流を行います。

スピーチコンテストは、国際社会に向けた人づくり、地域づくりを推進するため、小学校・中学生・高校生は英語で国際交流等に関する発表を行い、外国人は日本語で発表を行うことで、国際化に対する意識や相互理解を深めることを目的として開催します。

① お国料理バザー

時期：2024年10月27日（日）10：00～15：00 予定

場所：いづかコスモスコモン（筑前の國いづか街道まつりフードコーナー）

概要：外国料理の販売 300円 200食 2カ国

運営協力：協議会加盟団体及びボランティア

② スピーチコンテスト 2024

○小学校・中学生の部

時期：2024年9月28日（土）9：00～13：00

場所：飯塚市 穂波交流センター

概要：小学校による英語発表（参加賞）

中学生による英語スピーチ（最優秀賞1名、優秀賞2名）

運営協力：福岡県国際理解教育研究会筑豊支部

○高校生・外国人の部

時期：2024年11月3日（日）12：30～17：00

場所：飯塚市役所本庁 2階多目的ホール

概要：高校生による英語スピーチ（最優秀賞1名、優秀賞2名）

外国人による日本語スピーチ（最優秀賞1名、優秀賞2名）

運営協力：協議会加盟団体及びボランティア



2 ピザづくり国際交流

留学生、日本語教室受講生、技能実習生と子どもたちでピザ焼き体験等を通して文化交流を行います。

時 期：11月16日（土）10：00～13：00

場 所：飯塚市庄内生活体験学校（飯塚市有安 958-1）

対 象：中学生・外国人 20名程度

参加費：500円

運営協力：福岡県国際理解教育研究会筑豊支部

3 ホームビジット事業

募集は、年間を通して随時受け付けます。留学生や技能実習生等の参加希望者があった時点で登録されているホストファミリーと組み合わせを行い、交流期間の区切りを2025年3月31日までとして交流を行っていただきます。

募集方法：○外国人：日本語教室、大学、関係大学、企業を通じて募集

○ホストファミリー：市報、ホームページ及び関係団体等を通じて募集

対 面 式：組み合わせができた時点で対面式を行います。

4 筑前茜染め国際交流

留学生や技能実習生等の外国人と茜染めを通して国際交流を行う。

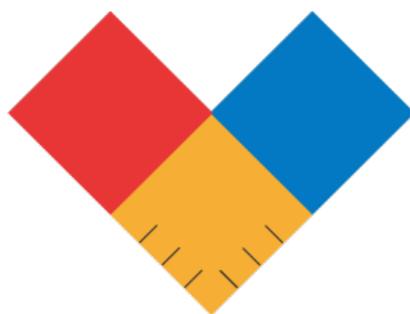
時 期：5月25日（土）

場 所：サンビレッジ茜（飯塚市山口 845-38）

対 象：20名

参加費：800円

運営協力：福岡県国際理解教育研究会筑豊支部



一般社団法人
飯塚友情ネットワーク

編集者、発行者： 飯塚友情ネットワーク、留学生フロント
連絡先： 〒820-0066
福岡県飯塚市幸袋 576-14 正田 志歩
e-ZUKA トライバレーセンターB211 号室
((株) chaintope 内)

Published by : Iizuka Friendship Network & Ryugakusei Front
Contact Person : Shiho SHODA
Kobukuro 576-14-B211, Iizuka, Fukuoka,
Tel. 0948-26-3800 〒820-0066
E-mail : info@iizukafriendship.net
